

学年	教科名	科目名	単位数	対象コース
高校 2 年	数学	数学Ⅱ	4	特進理系
教科書・副教材		NEXT 数学Ⅱ, NEXT 数学Ⅲ(数研出版) サクシード数学Ⅱ+B, サクシード数学Ⅲ+C(数研出版)		

科目の目標			
高校 2 年次に履修する数学は「数学Ⅱ」、「数学 B」と「数学 C」です。数学Ⅱは、4 単位の科目で、5 つの単元「式と証明」「複素数と方程式」「図形と方程式」「三角関数」「指数関数と対数関数」及び「微分法と積分法」を学習します。この科目では、数学Ⅱの学習内容終了後、数学Ⅲへ進みます。数学Ⅲについては、「平面上の曲線」と「極限」について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図ることを目標にします。事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を養っていきます。 授業の「進度」は一年間の見通しを持つ必要がありますが、「進度」は授業担当者がマネジメントします。授業の「深度」については、学習者自自身リフレクション（振り返り）を通して自己評価することが必要です。2 つのシンドを確かめることにより、自学自習の時間は決まります。 授業内の活動において、わからないことなどは周囲の人たちと相談しても良いですし、教員に気軽に質問してもらっても良いです。授業の主役は生徒の皆さんであり、我々教員ではありませんので考え・悩みながら 45 分の活動を進めてもらいたいと思います。			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身につける。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身につける。
評価の方法	確認テスト(単元テスト) 定期テスト ワークシート 観察 など	確認テスト(単元テスト) 定期テスト ワークシート パフォーマンス課題 観察 など	確認テスト(単元テスト) ワークシート パフォーマンス課題 観察 リフレクション など

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1 学期	第 2 章 複素数と方程式		小テスト
	1.複素数と 2 次方程式の解	8	単元テスト
	2.高次方程式	5	定期考査 提出物
	第 3 章 図形と方程式		小テスト
	1.点と直線	10	単元テスト
	2.円	8	定期考査
	3.軌跡と領域	7	提出物

2 学 期	第4章 三角関数		小テスト
	1.三角関数	13	単元テスト
	2.加法定理	7	定期考査 提出物
	第5章		小テスト
	1.指数関数	7	単元テスト
3 学 期	2.対数関数	7	定期考査 提出物
	第6章 微分法と積分法		小テスト
	1.微分係数と導関数	7	単元テスト
	2.関数の値の変化	6	定期考査
	3.積分法	12	提出物
	NEXT 数学Ⅲ 第1章 関数	8	小テスト
			単元テスト 定期考査 提出物
	第2章		小テスト
	1.数列の極限	10	単元テスト 定期考査 提出物